

## 志學館大学社会連携に関するポリシー

志學館大学は、建学の精神である「時代に即応した堅実にして有為な人間の育成」に基づき、地域と共に歩む大学及び地域に開かれた大学として、地域社会との連携・協力の中で教育研究等を展開することで地域社会の発展に貢献することを目的とし、以下のことの実現を目指す。

### (社会連携体制の整備)

第1 大学として、地方自治体及び地元産業界等と包括的な連携を図りつつ、質の高い地域貢献を実現する。そのために、IR活動により地域社会のニーズと期待を把握するとともに、社会連携センターを中心として、次項以下に掲げる活動を推進できる体制を整備する。

### (地域の高等教育振興への貢献)

第2 地域の地方自治体、産業界及び高校教育界との連携及び地域の高等教育機関との協力により、地域の高等教育の活性化を図る取組みに積極的に貢献する。そのために、地域における高等教育政策の策定と実行に関する中長期計画及びロードマップの策定並びに意思決定体制の整備を含む、地域プラットフォームの形成及び活動に必要な取組みを行う。

### (地域社会に貢献できる人材の育成)

第3 地域社会の発展に貢献する高い意識とそれに必要な知識・技能及び問題解決能力を持った人間を育成する。そのために、地方自治体及び産業界の人材育成のニーズと期待を把握し、質の高い教育プログラムの形成と実施に生かす。また、地域社会住民と連携し、キャンパス外での質の高い学びの機会を学生に提供する。

### (地域社会の課題解決に向けた研究)

第4 地域の産業や社会に貢献する研究を推進し、文化の創造と社会の充実発展に寄与する。そのために、各種の組織との地域課題の解決に向けた共同研究を推進するとともに、地域行政への積極的な参画と提言及び社会・産業界への情報発信を通して、研究成果の実装化を進める。

### (地域の社会人の学びの場の提供)

第5 地域の社会人、特に働きながら学修する人びとの学修意欲に応える場を提供する。そのために、履修証明プログラム、雇用保険法に基づく教育訓練、公開講座等の活動を行う。

### (地域コミュニティの一員としての活動)

第6 地域コミュニティとの連携を推進し、地域と共に歩む社会に開かれた大学を目指す。そのために、地域社会の活動に積極的に参画し、地域住民等向けの各種相談に応じる活動及び情報発信への協力並びに学生のボランティア活動等を推進する。

このポリシーは令和元年9月25日より施行する。